



公益社団法人芦屋市シルバー人材センター

はつらつ 芦屋

2021・7 No.32



ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

芦屋市シルバー

検索

シーサイドタウン『計画から半世紀の光』
撮影 北川 明(会員番号1821)

TEL 0797-32-1414 FAX 0797-31-9223



コロナ禍での 令和3年度定時総会開催

今年も新型コロナウイルス感染症防止の緊急事態宣言下となってしまいました。5月26日（水曜日）芦屋市シルバー人材センター令和3年度定時総会がはつらつ館にて開催されました。

当日は昨年同様、感染防止対策をとりながら、出席者を絞った規模の小さい総会となりました。

828名の出席（当日出席者20名、委任状808名）のもと、森川職員の方の永年会員表彰があり向千鶴子会員が代表で表彰されました。

芦屋市長から頂きました祝電が披露され、その後議題に入りました。

議長は、植田英三郎会員が選出され、事務局からの要点を押さえた簡潔な説明で、報告第一号から四号、議案第一号から四号が全て承認されました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大で経済や雇用にも大きな影響があり、シルバーの事業にも大きな打撃がありました。新たにキッチンカフェなりひらの事業を始め、就業の場が広がりました。

議長のスミーズな進行のもと一時間程で終了しました。

その後、令和3年度安全標語優秀作品が発表され、檜田隆子会員が代表で表彰されました。



山中 健 理事長



議長の植田 英三郎 会員



新役員 中山 裕雅 氏

「芦屋市長からの祝いメッセージ」

令和3年度 芦屋市シルバー人材センター 定時総会の開催をお喜び申し上げます
 平素より、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進を図る活動にご尽力いただいておりますことに深く敬意を表します
 高齢者の能力を生かした活力ある地域社会になりますようお願いいたしますとともに、貴団体の益々のご発展とご参会の皆様のご健勝を心よりお祈りいたします

令和三年五月二十六日
 芦屋市長 いたう まい

公益社団法人 芦屋市シルバー人材センター
 理事長 山中 健 様



安全標語優秀作品表彰代表
 檜田 隆子会員



永年会員表彰代表
 向 千鶴子会員



令和3年度の役員一同

令和3年度安全標語

最優秀

まったなし 安全は一人一人の心がけ

澤田 邦洋

優秀

ヒヤリして ハット気付いた 慣れ過信

檜田 隆子

無理スルナ その一言が事故防止

中西 秀樹

Enjoy! with COVID-19

外出しないパソコン「オタク」

外出はしないで何かすることはないか、楽器の演奏やYouTubeも飽きたので、ヤフオクを見てたらいつの間にかはまっていました。そこでパナソニック製のパソコン（CF-B11 15.6インチ）の中古を見つけ「ダメもと」で入札し、相場より安く落札できました。手元に来たものを見たら外観はキーボード以外結構綺麗でした。少し手を加えたら快適に使用できるようになり大満足です。ついでにヤフオクで内蔵のブルーレイ・ドライブをゲットし交換しました。Core-i7のサクサクですが、キーボードが黄ばんでいるため古臭い感じがしていました。そこで新品のキー

梶原 健司（会員番号1907）

ボードをヤフオクで見つけ交換すると見違えました。余った古いキーボードは捨てようと思いましたが、ヤフオクに出品したところ2日目で落札されました。（欲しい人いるんだなあ…）。外に出てもこんなことは絶対できないと思います。買ったり売ったり面白いひと時でした。改めて、ネット取引の有難さを感じます。

後で考えたら沢山持っているのに、何でまた買ってしまったのだろうと、後悔もしています。パソコン「オタク」の宿命かな。



コロナがきっかけで…

初めて日本でコロナの感染者が出たのは2020年の1月、瞬く間に日本中に蔓延して、三密、時短、まんぼう（蔓延防止）、緊急事態宣言と次々出される政策もなかなかうまく行かず、ウィズコロナの毎日です。もごもごとマスク越しの歯がゆい会話をし、買い物は大急ぎで帰ったら必ず手指の消毒。まるでコロナに手かせ足かせをはめられ猿ぐつわをされたような気分で鬱々と

谷田 和子（会員番号3306）

過ごしていましたが、前に申し込んでいた講演がインターネット配信に変わったのをきっかけに、手続きをしてトライしてみました。広い会場のように声が聞き取り辛いと言う事もなく、講演者の表情もよく見えて、思った以上に良い経験が出来ました。コロナ禍で新しい楽しみ方を見つけた！

コロナ禍での刺繍

外出好きの者が家に閉じ込もって、閉塞感に苦しめられている中でまず始めたのは身の整理であった。その中に母の遺品があり、母が手



をつけずにいた刺繍の材料が沢山出て来たので、その内の一枚を思い切って仕上げてみる事にした。

針を持つのは、かれこれ10年ぶりである。ある時、ラジオから流れてく

久我 和子（会員番号2251）

る母の好きだった「バラが咲いた」のメロディーに一瞬手が止まる。それでも針と糸を進めて行く内に、娘時代、母と一緒に教室で習った刺繍の時間や昼食を共にしたクラスの友達の顔が懐かしく甦って来る。

コロナ禍でも、手と身体を動かしていれば、心も少しずつ和み美しい作品が出来上がった。誰かに贈ろうかな、いや、せっかくの作品だから、まずはクッションに仕立て、自分への贈り物にしよう。

はからずも、コロナが彫琢^{ちようたく}した、私のLife Work

鳥井 正晴 (会員番号3137)

平成26年3月大学退職。8月「『倫敦塔』論集」の仕事始める。この3月30日刊行、7年半に及ぶ。編集の大詰め期がコロナと重なった。当初も相当の決意はあったものの、今ほどではなかった。「コロナの狂風」が、私をして卒然と気付かせてくれた。この地上における悲しい滞在中に、何をやるべきかを。形態は純粋な「学術論文」であるが、「私を表現する」ことも意識的に営為象嵌(そうがん)。「あの世で舞う一曲を残す」と能は言うが、舞い尽くした感がある。コロナがなかったら、これほどに醸成され尽くした仕事

の誕生はなかつたらう。「『漱石作品』論集 風景シリーズ」の最終巻である。



コロナ禍での過ごし方

黒住 敬一郎 (会員番号1653)

感染防止には神経を使う日々ですが巣ごもりばかりせず出来る限り外へ出るようにしているのが芦屋を再発見する機会が増えました。

山手緑地から親水公園まで色々なコースを



歩いています。入会した2009年に班で作ったあしやウオーキングマップのコースを思い出

します。オープンガーデンの時期には素通りしていた道で素晴らしい花壇を発見したり、岩が平公園のバラ園の良さを再認識したりしました。

おうち時間ではネットやオンラインは一層欠かせないものになりました。LINE・FaceTimeのビデオ通話、Zoomによるオンライン会議とオンライン飲み会、Googleドライブ・YouTube等々紹介したいことは多々ありますが直接集まって談笑することに勝るものはありません。

終息を願っています。

花器作りを楽しむ

小鴉 邦則 (会員番号2598)

私は剪定班に入ってから巨木巡りと一輪挿し作りを楽しんでいます。

巨木巡りはコロナ禍で自粛していますが、一輪挿しは面白い形のものがあれば作品にしています。

花器も切った竹を使って作りました。今度何かに使えないかと残しておいた空洞のある枯れ木を花器にしようかと思っています。如何に自然風

にするか思案中です。

良いものが出来そうに思えるので、それを使って生けるのが今から楽しみです。



芦屋の🎯が好き

『さくら参道』

阿南 京子 (会員番号2422)

今年も桜の季節がやってきました。コロナ禍で思うような花見を楽しみすることはできませんが、日本国中、時季を違えて美しい花を感

かせてくれます。私の住む朝日ヶ丘町でもあちらこちらで美しい桜を楽しむことができます。へさくら参道この通りは私の大好きな場所です。桜花爛漫と咲き誇る時、それはそれは見事です。

毎年、何があっても時を知って咲き続ける桜、私達を勇気づけてくれる桜、こんな時だからこそ、心から嬉しく感謝の気持ちが溢れ出てきます。



こだわりの食材に心を込めて

似 顔 絵



古賀 穂彦さん



池江 瑠花子さん



松山 英樹さん

バルセロナ五輪、柔道で金メダリスト。「平成の三郎」と呼ばれた古賀 穂彦さん、3月に死去。おき
 白血病から復帰し、競泳の東京五輪代表
 に内定した池江 瑠花子さん（20才）
 ゴルフのメジャー、マスターズトーナメントで日本
 男子初の快挙。松山 英樹さん（29才）

澤田 邦洋（会員番号2008）

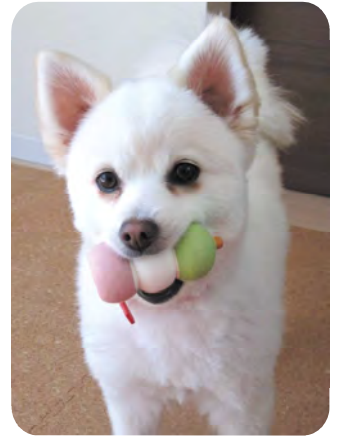
ペットご披露



ポポちゃん



渡辺 照子（会員番号3082）



とても人が好きで家人が出かける用意をすると、
 おいていかないとなきまます。その反面物凄くいた
 ずらっ子で女の子なのに気性が激しく、かまっつや
 らないと庭から靴を拾ってきて、居間に置き、関心
 を向けようとします。
 茹で卵の白身が大好きで、卵の割る音がすると何
 時の間にか側でお座りしている可愛い子です。
 2年前ポメラニアンのお父
 さんお母さんの間で6月24日
 に生まれました
 名前はポポ。まだ子犬だった頃
 タンポポの綿毛みたいにつワフワ
 ワしていた事から名付けました。

襟元を飾るブローチの、蛍、紫陽花、
 ひまわり等の絵は友禅染で描いていま
 す。友禅染は、京都や金沢の着物と思っ
 ていた私は、数年前に吉野の知人を訪
 ねた折、料理の器に描かれている絵が
 総べて友禅染作品と知り、大感激。洋
 服、器、ブローチと、どんな物にも好
 きに描く事が出来る友禅染に惹かれて
 仲間入り、吉野に通う様になりました。
 まず下絵を描く事から始め、胡粉で
 縁取りをし、一つ一つ色を付け、絵を
 仕上げていきます。出来上がった作品
 は、下手でも思い出と共に、私だけの
 一品です。
 友人宅には、陶芸、洋裁、習字の先
 生、カラオケのママ、万葉歌の歌い手
 と、魅力的な人達が集まります。豊な

「友禅染ブローチと仲間たち」

向 千鶴子（会員番号1471）



自然と、おいしい料理と、仲間とのおしゃ
 べりを満喫し、作品を作り、帰りのみやげ
 は取り立て野菜です。もう少して10年、元
 気でブローチ作りに通う日々が、少しでも
 長く続くことを念じつつ、コロナの終息を
 願うこの頃です。

ワーク・ア・ラ・カルト

小中学校 放課後施錠業務

大石 銑太郎 (会員番号3384)

今年の4月から、市内の小中学校の放課後の鍵閉め等の巡回確認業務が開始されました。就業は日曜祝日を含む毎日、各校を会員各3人で受け

実際に就業してみると「苦労」と「楽しみ」との両方がありました。最初の苦労は学校全体の巡回経路を体に叩き込むことです。



ある日のこと、施錠した鍵が抜けなくなってしまうた失敗がありました。先生の助けで大事に至りませんでしたが、こうしたことは互いに情報共有することによって再発防止を図っております。

仕事は「信頼と安全」が本質の単独作業なので、「指差・呼称・確認」を心がけると同時に身なりを整えております。

一方、楽しみとしては、世代の離れた先生や澁淵（はつらつ）とした生徒と挨拶を交わす喜びがあります。また、教室や図書室の掲示板に貼られた進路案内・図書案内・行事予定を見たりすると、はるか昔の自分の中学時代を懐かしく思い出すこともあります。

今後も心身の健康を保って、この仕事を長く続けたいと思っています。

応募の動機は養老孟子氏の「超バカの壁」にある大好きな言葉に「仕事というものは、社会に空いた穴です。道に穴が空いていたそのまま放っておくと、みんなが転んで困るから、そこを埋めてみる。ともかく目の前の穴を埋める」という言葉がいつもあって応募しました。



今年4月、市内の小中学校の放課後の鍵閉め等の巡回確認業務が開始されました。就業は日曜祝日を含む毎日、各校を会員各3人で受け



私のおじいちゃん

北じま ゆうかさん(小3)
りゅうせいさん(小1)
ゆうだいさん(保育園)

入部 兼昭さん 孫
(会員番号2804)



ゆうだいさん、りゅうせいさん、ゆうかさんと入部さん

わ	た	し	の	お	じ	い	ち	ゃ	ん	は	字	を	書	く	の	か	と
も	上	手	な	の	で	わ	た	し	が	字	を	書	く	れ	ん	し	う
し	て	い	る	と	、	教	え	て	く	れ	ま	す	。	と	き	ど	き
い	ち	ゃ	ん	が	上	手	に	書	け	て	い	る	ね	！	と	ほ	め
れ	ま	す	。	わ	た	し	は	と	ア	も	う	れ	し	く	て	も	と
手	に	書	け	る	よ	う	に	か	ん	は	ら	う	と	思	い	ま	す
と	字	が	う	ま	く	な	っ	た	ら	、	お	じ	い	ち	ゃ	ん	と
の	たい	い	け	つ	を	し	た	い	と	思	っ	て	い	ま	す	。	
ほ	かに	も	お	じ	い	ち	ゃ	ん	は	、	マジ	ック	も	で			
さ	ます	。	わ	た	し	は	お	じ	い	ち	ゃ	ん	が	教	え	て	く
た	マジ	ック	は	何	こ	か	で	ま	す	。	でも	お	じ	い	ち		
ゃ	ん	が	し	て	い	る	マジ	ック	は	わ	た	し	か	し	っ	て	い
る	マジ	ック	より	む	す	か	し	い	の	で	、	タ	ネ	が	ぜ	ん	
で	ん	分	か	り	ま	せ	ん	。	わ	た	し	も	っ	と	た	く	さ
ん	の	マジ	ック	を	で	さ	る	よ	う	に	な	り	た	い	で	す	。
																	ゆうか

元気の秘訣

何事も楽しく、面白く

佐々木 睦子会員の巻
(会員番号1358)

今年79歳になり
ますが人
生はあっ
という間
に過ぎて
きました。
60歳の時
にろっ骨
を骨折し、



69歳で10万人に一人の病気の脊髄腫瘍ができた時は、日常生活がもう無理かと思いましたが、今は何とか元気を維持しています。半年ほどした時にセンターで「会員のための健康体操講座」が始まり、それに参加して皆さんとお喋りしていましたが、いつの間にか自然と普通の生活が出来る様になっていました。発足当時から入会して7年になりますが、面白く楽しく続けています。最初はヒーヒー言いながら身体も痛かったのですが、物足りない位の時もあります。

また、「まつぼっくり」の立上げから参加して乳幼児の見守り、家庭での出産前後の支援と就業をしていましたが、病気で出来なくなり、趣味を活かして「夢きらら」と「はつらつキッチン」で活動しています。

シルバーに入会してお友達が増え、色々な方とお話もでき、知らない事が知れたり、反対に教えてあげたりしていることが元気に暮らせる源だと思つています。事務所の方から声を掛けてもらえるのも元気の秘訣です。

緊急事態宣言が続きどうされているのかと、もう一度取材させていたいただきました。今はコロナ禍でお誘いのお出かけも出来ないし、市内を散策するのも大好きでしたが、遠くへは行けず近くを散歩したり、手芸品作りをされているそうです。スーパへ行き散歩代わりに2〜3周していたら、余分なものまで買ってしまったと、笑っておられました。

取材 加古 良子

夫婦で会員 ロマンスシート Romance Seat

夢の三輪ハーレー

須藤 一揮(会員番号3262)
須藤 雅子(会員番号3314)

お二人が入会されて間もなくコロナ禍になり皆が暗くなる中、明るく光が差し込むようなお二人のお話しであります。

共に再婚同士で、5人のお子様のお親として今70歳の時に、通訳案内士の仕事を始められたがコロナの影響を受けて休業となり、当センターへ英語の教師の就業を希望され入会されました。その後、子育てを終えた奥様も会員になり、歯科医院で就業されています。お二人にとって今は2歳になるお孫さんが可愛くてしかたがない様子。

お好きな音楽を伺うと、ご主人は「ラストワルツ」、奥様は「ミィシャ」の歌。どちらも熱唱する



曲である。カラオケに行けばお二人ともマイクは要らないらしい。ご主人の夢は125ccのバイクで妻と世界一周の旅に。

(ここから話に熱が)しかしそれには2つの難題があり、「ヘルメットが嫌いである事とバイクが倒れたら困る事」であった。この問題をクリア出来るのが三輪ハーレーだった。

はてさて、奥様の心配を横目に将来は、上下が黒の革ジャンを身にまとい三輪ハーレーにまたがって、高速道路を走るご主人の姿が見られるのでしょうか？

初めは単に男のロマンかと聞いていましたが、ご夫妻の真剣な眼差しに取材を忘れそうになり、「シニアも希望と勇気を持って」と励まされた私でした。



取材 久我 和子

紀行☆寄稿☆奇行？

ネパール支援

「ラリグランスクラブ」の歩み

久堀 洋子 (会員番号3094)

皆さんは、ネパールという国を知っていますか？ 正式な国名は、ネパール連邦民主共和国です。世界最高峰のヒマラヤのある国です。国民の約7割が農業に従事、観光業のほかには産業がないため、世界の貧しい国のひとつです。昨年、今年もネパールに行くことは、出来ませんでした。今まで、15回訪問しています。

在も継続中です。

また、お母さん達から「ネパール語の読み書きを勉強したい」と要望され、識字



視覚障がいの子も達

教室を開きました。ネパールでは、多くの女子は弟妹の世話や家事手伝いをさせられ、学校に行けなかったのです。1年後に教室を訪問すると、お母さん達はすっかり明るい顔になっていました。

2. 教育からはじき出された子ども達の教育支援

ネパールでは、カースト制度がまだに残り、低いカーストの子ども達や貧困家庭の子ども達は教育から見放されています。ネパールの教育制度は、小学校5年間、中学校3年間、高校2年間です。高校2年生に当たる10年生の時に、SEE試験と呼ばれる全国統一国家試験があります。この試験の成績により将来の進路がほぼ決定します。

差別されていた子ども達もこの試験でよい成績をとれば未来が開

けるのでは？ まず勉強をしたいと望む子ども達を学校に通わせて、SEE試験でよい成績をとることを目指そう！ とクラブの方針が決まりました。

3. 視覚障がい児のための住居と学資の支援

私達のクラブの活動を知った親が、わが子が視覚障がい児で支援してほしいと頼みに来ました。視覚障がい児は、沢山の困難に直面していることを知り、支援することにしました。他にも支援してほしいとの要望があり、通学も困難なので、学校の近くに寮を作ること。寮母さんも見つけて、LSG (ラリグランス・セワ・グリハ)

がスタートしました。現在は、5人の少女と1人の少年が生活しています。彼らは、障がい乗り越えSEE試験で、優秀な成績をとりました。

最初出会うMさんは、歌手の道を目指し、Sさんは教師の免許



識字教室の母親達

を取り公立学校で教師になり、唯一少年のJ君はマネジメントの勉強を続けながら、オンラインニュースの会社でインタビュアーとして働いています。

「ラリグランスクラブ」の仲間達との交流

私達がネパールを訪問した時に、現在教育支援をしている子ども達と過去に教育支援をした子ども達とその家族達、私達スタッフが集まり、レストランでパーティーを開きます。自立して社会で活躍する子ども達。その先輩達を目標に頑張る子ども達。パフォーマンスが次々と飛び出すなか、自然な交流が生まれています。

「ラリグランスクラブ」は、小さな、小さなグループですが、20年間ほどの活動を通して、大きな達成感があり、支援を続けてきて本当に良かった！ と心から思います。



盛り上がるパーティ

「ラリグランスクラブの設立」

私の友人が、1999年にネパールを旅し、その貧しさや未就学児の多さに衝撃を受けたのがきっかけで、「ラリグランスクラブ」を立ち上げました。その目的は次の3つです。

1. 婦人達の自立のための支援

子育てで、働くことのできない貧しいお母さん達に、編み物指導をし、その製品を日本で売りました。このプロジェクトは現

「会員意識向上委員会主催の講座」

『接遇講座』

2月22日、森信行委員が講師を務める講座は、「グッドコミュニケーション・グッドワーク」というサブテーマで、私たちが信頼を得る就業を行うために、大切にしなければいけないことについて学びました。



①シルバーの精神と契約の仕組みをよく理解すること

②相手の人格を尊重すること

③自分の性格を理解し、相手に不愉快な思いをさせない努力をすること

④社会常識・時間・マナーを守ること

どれも社会人として当たり前のことですが、その当たり前のことができない為に、様々な苦情やトラブルの発生に繋がります。

60歳を過ぎて今更…ではなく、「さすがシルバー会員さん」と言われるように努力をしようと思わせてもらった講座でした。

『人生100年時代の働き方について』

檜田 隆子（会員番号2955）

3月8日、森原寛一委員が講師を務める講座は私達高齢者が働く上で、環境の変化や社会的支援等についての話がありました。少子高齢化に伴う労働力人口の減少、外国人労働者の増加等、雇用を取り巻く様々な問題についても触れられました。その中で、健康を保ちながら仕事を持つことの意義、そして企業・地域からの信頼を得て、「シルバーさんから他には変えられない」と言ってもらえるようお客様を大事にする意識を持つことが大切であると話されたことが印象に残りました。



最後に、参加

者自身が健康を保つために気をつけていることについて意見交換をし、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

編集後記

3回目の緊急事態宣言により、改めて気の引き締まる思いの中、7月1日発行を目指して編集作業を重ね、換気とマスクで乗り切りました。

マスクと消毒液が生活の中に浸透し、生活も様変わりをしています。その中で、前向きに自分の生活を楽しみながら日常を送っている会員さんを取り上げました。

先日の新聞記事に、高齢者の就業率が高い地域は医療費が低いと紹介されていました。働く環境を整え、地域ぐるみで健康を管理することが医療費を抑える、まさしくシルバーのあるべき姿かなと、思いました。

時間を上手に使う、生活を楽しむ、就業しながら地域貢献をする、そんなことを意識しながら自分の健康を管理するのも素晴らしいことかもしれませんね。

廣田 輝代

はつらつギャラリー



スフィンクスも観た



パルテノン神殿の夕景

また旅に
でたいなあ♥



花言葉は“憧れ”



“ヘップバーンに変身！”

会員登録は2013年。以来、主として教育支援教室で中学生の英語指導に携わっています。絵は、2018年5月頃、ようやく時間に余裕ができましたので、中学生の時、教室で図工の先生から教わった知識と技能を頼りに、描き始めました。

この春、端午の節句に、鯉のぼりの絵手紙を友人・知人に送ると、「懐かしい」とか「心が洗われた」とか、思いもしなかった喜びの声を戴きました。そこで、最近、旅の思い出を描くのはそろそろ卒業して、私の画風を創造し、「是非、部屋に飾りたい」と思われるような絵を描きたいと考えています。



北風 文子 (会員番号2338)